

# 原発なくせ抗議行動ニュース

原発ゼロを求めるイレブン  
アクション岡山実行委員会

NO. 37  
2013.05.31

ブログ：<http://b.kenro.jp/> 連絡先：[okakenro@mx1.tiki.ne.jp](mailto:okakenro@mx1.tiki.ne.jp)

電話：086-221-0133 fax：086-221-3595

## 原子力機構を抜本改革 文科省、事故受け本部設置

独立行政法人・日本原子力研究開発機構（JAEA）が管理する茨城県東海村の加速器実験施設の放射能漏れ事故などを受け、文部科学省は、JAEA の改革本部を設けて、組織の体制を抜本的に見直し、安全性を徹底させることを決めた。JAEA 改革本部は下村博文文科相を本部長に有識者もメンバーに加えて、①業務の見直し②安全性を優先した運営体制③安全文化の醸成について検討する。2ヶ月をめどに改革案をまとめる。（5/29 朝日）

## 原発ゴミの最終処分場 候補地選び方見直し

経済産業省は 28 日、原発の使用済み核燃料を再処理した後に出る「高レベル放射性廃棄物」の最終処分場について、候補地の選び方を見直す議論を始めた。政府は、すべての使用済み核燃料を再処理する核燃料サイクル政策を掲げている。高レベル放射性廃棄物は地中深く埋めて最終処分する方針で、電力会社などが出資する原子力発電環境整備機構（NUMO）が 2002 年から最終処分場の候補地を公募している。しかし、調査を受け入れた自治体は一つもない。このため、経済産業省は 28 日に放射性廃棄物小委員会を 3 年半ぶりに再会し、受け入れやすい環境づくりに乗り出した。政府が住民説明会を開くほか、いったん廃棄物を埋めても、安全性に疑問が出れば取り出して別の場所に移す制度を設けるなどの検討をする（5/29 朝日）

## チャルノブイリの 30 分の 1 福島事故 国民全体の甲状腺被曝量 国連委が報告書案

東京電力福島第 1 原発事故について、国連価格委員会が報告書案をまとめた。集団でみた日本国民の総被ばく線量は、甲状腺がチャルノブイリ原発事故の役 30 分の 1、全身は 10 分の 1 と推計した。福島第 1 原発事故の健康影響について「見つけるのは難しい」とした。（5/27 朝日）

## 放射能漏れ 最終的に 33 人が被曝 原子力機構 通報 1 日半遅れ

日本原子力研究開発機構は 25 日未明、茨城県東海村の加速器実験施設「J - PARC」で、放射性物質が施設の外に漏れる事故が起きたと発表した。この事故で最終的に 33 名が被曝し、被曝の最大量は 1.7 ミリシーベルトだった。外部へも放射性物質は漏れた。（5/26 朝日）